
2024年3月期 決算説明資料

2024年5月8日



大末建設

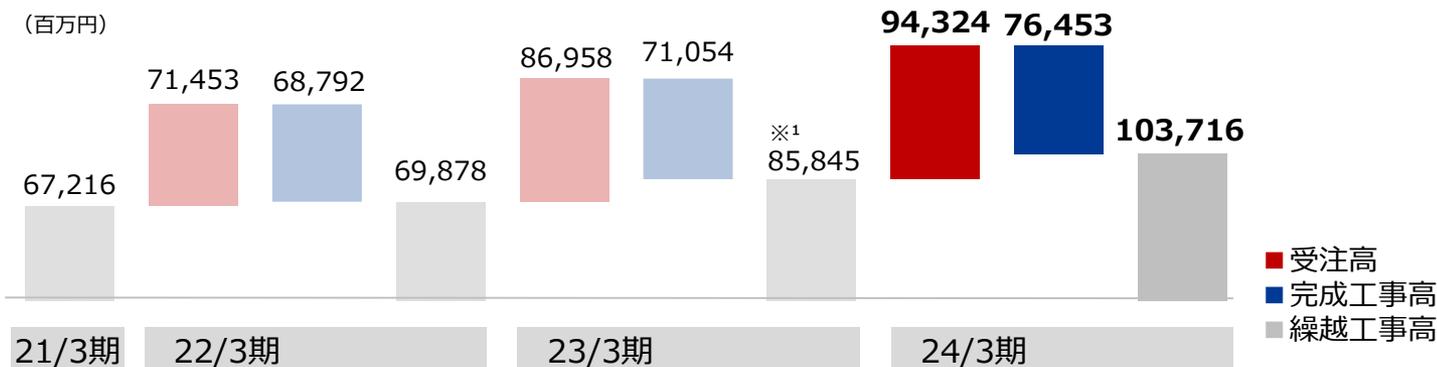
1.24/3期決算サマリー

連結 受注高

94,324百万円 (前年同期比 +8.5%)

受注高は、前年同期比8.5%増加の94,324百万円となり、近年では最高の水準

ご参考：(前期末)繰越工事高+受注高-完成工事高=(当期末)繰越工事高

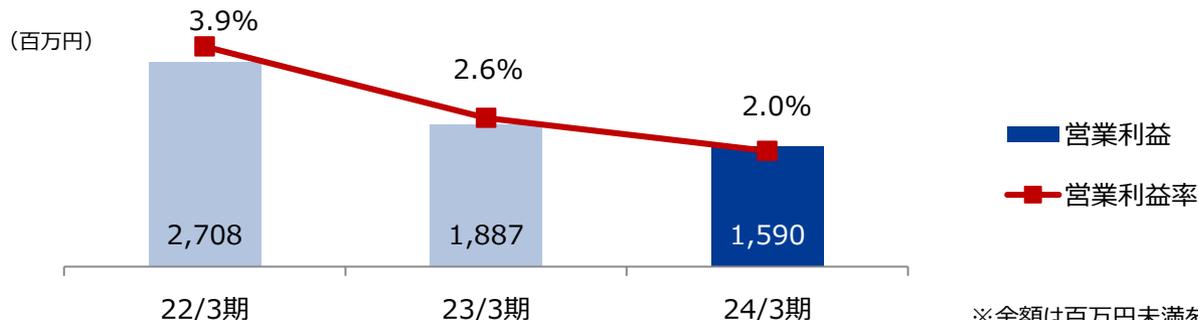


※1 23/3期の繰越工事高は、2023年11月にグループ化した神島組の繰越工事高を加算しております

連結 営業利益額

1,590百万円 (連結営業利益率 2.0%)

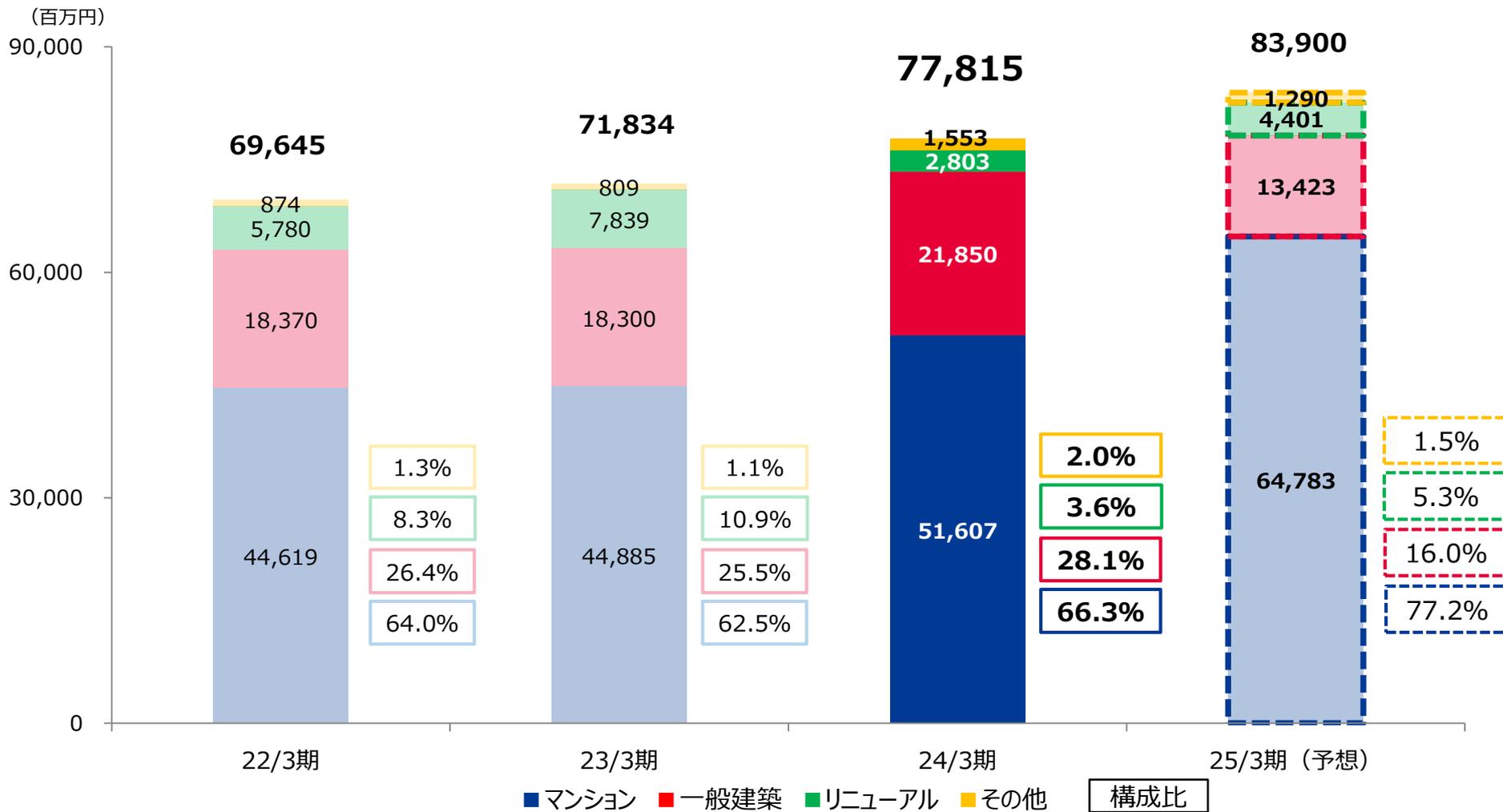
連結営業利益は、前期に受注した案件を中心に建設資材価格の高騰に対する価格転嫁が進まなかったことなどにより、前年同期比15.7%減少の1,590百万円



※金額は百万円未満を切捨てて表示しております

2-1. 連結売上高推移

豊富な繰越工事高と好調な受注が寄与し、前年同期比8.3%増加の77,815百万円



2-2.主な完成工事

※都道府県コード順で表示しております

発注者名	物件名（工事名）	都道府県	用途
野村不動産株式会社	プラウド一番町一丁目	宮城県	マンション・集合住宅
医療法人財団明理会	イムス富士見総合病院C館	埼玉県	医療・福祉・高齢者住宅 【改修】
伊藤忠都市開発株式会社	クレヴィア三軒茶屋	東京都	マンション・集合住宅
三信住建株式会社 京急不動産株式会社 大成有楽不動産株式会社	プレミアムレジデンス横須賀中央	神奈川県	マンション・集合住宅
日鉄興和不動産株式会社	LOGIFRONT厚木	神奈川県	物流倉庫・工場
戸田建設株式会社	MAKE A GOOD LOGI尼崎	兵庫県	物流倉庫・工場
東京建物株式会社 エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社	Brillia夙川高塚町	兵庫県	マンション・集合住宅
穴吹興産株式会社	アルファステイツ松江駅南	島根県	マンション・集合住宅

2-3.主な完成工事



プラウドー番町一丁目

野村不動産株式会社／宮城県



クレヴィア三軒茶屋

伊藤忠都市開発株式会社／東京都



プレミアムレジデンス横須賀中央

三信住建・京急不動産・大成有楽不動産／神奈川県



MAKE A GOOD LOGI 尼崎

戸田建設株式会社／兵庫県



Brillia夙川高塚町

東京建物・エヌ・ティ・ティ都市開発／兵庫県



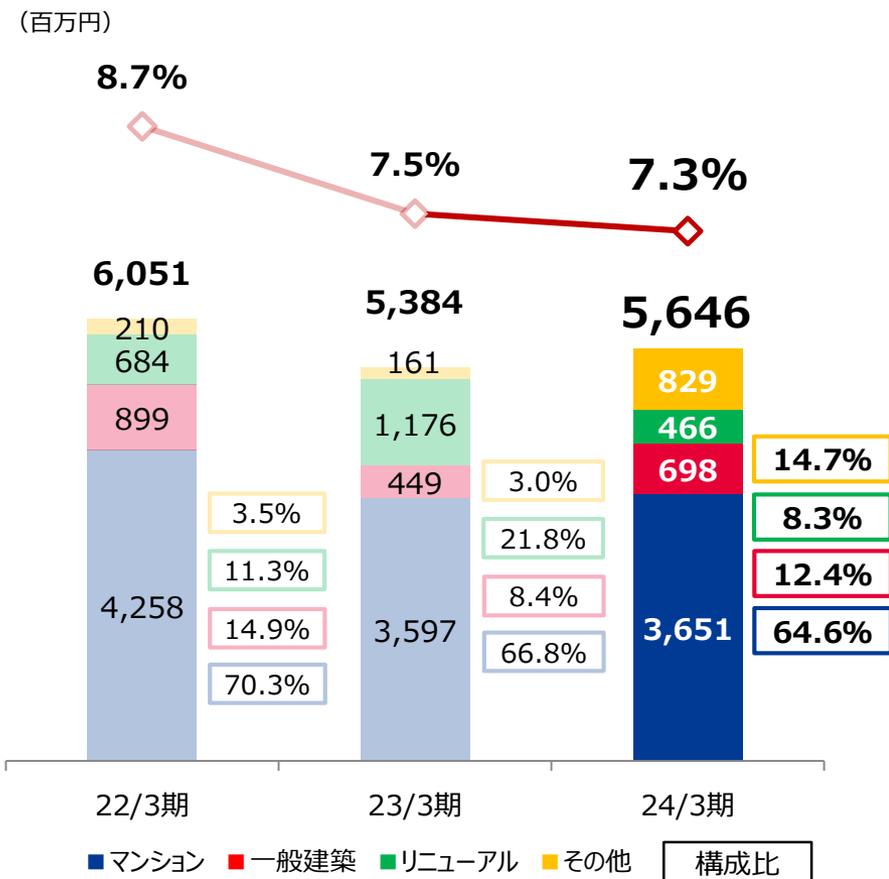
アルファステイツ松江駅南

穴吹興産株式会社／島根県

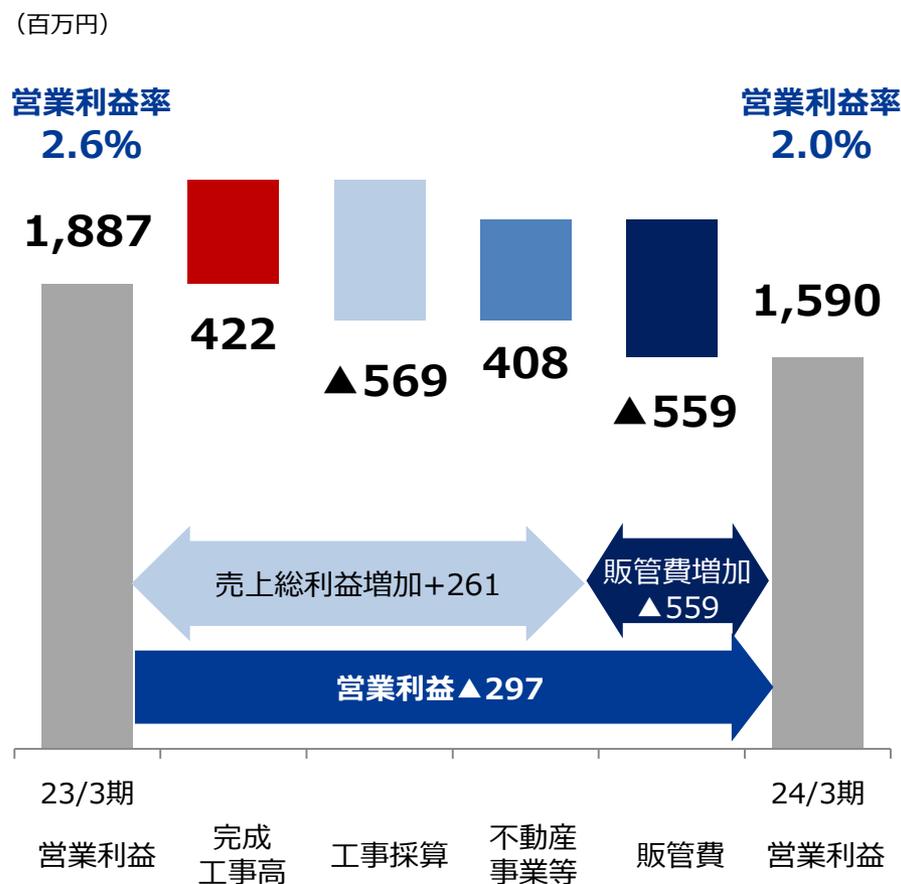
3.売上総利益推移・営業利益の増減要因

売上高の増加により売上総利益額は増加。売上総利益率は資材価格高騰に対する価格転嫁が進まなかったことなどにより前年同期比0.2ポイント低下も、下期以降は改善傾向（23/9 5.8%⇨24/3期 7.3%） 営業利益は前年同期比15.7%減少の1,590百万円

売上総利益推移



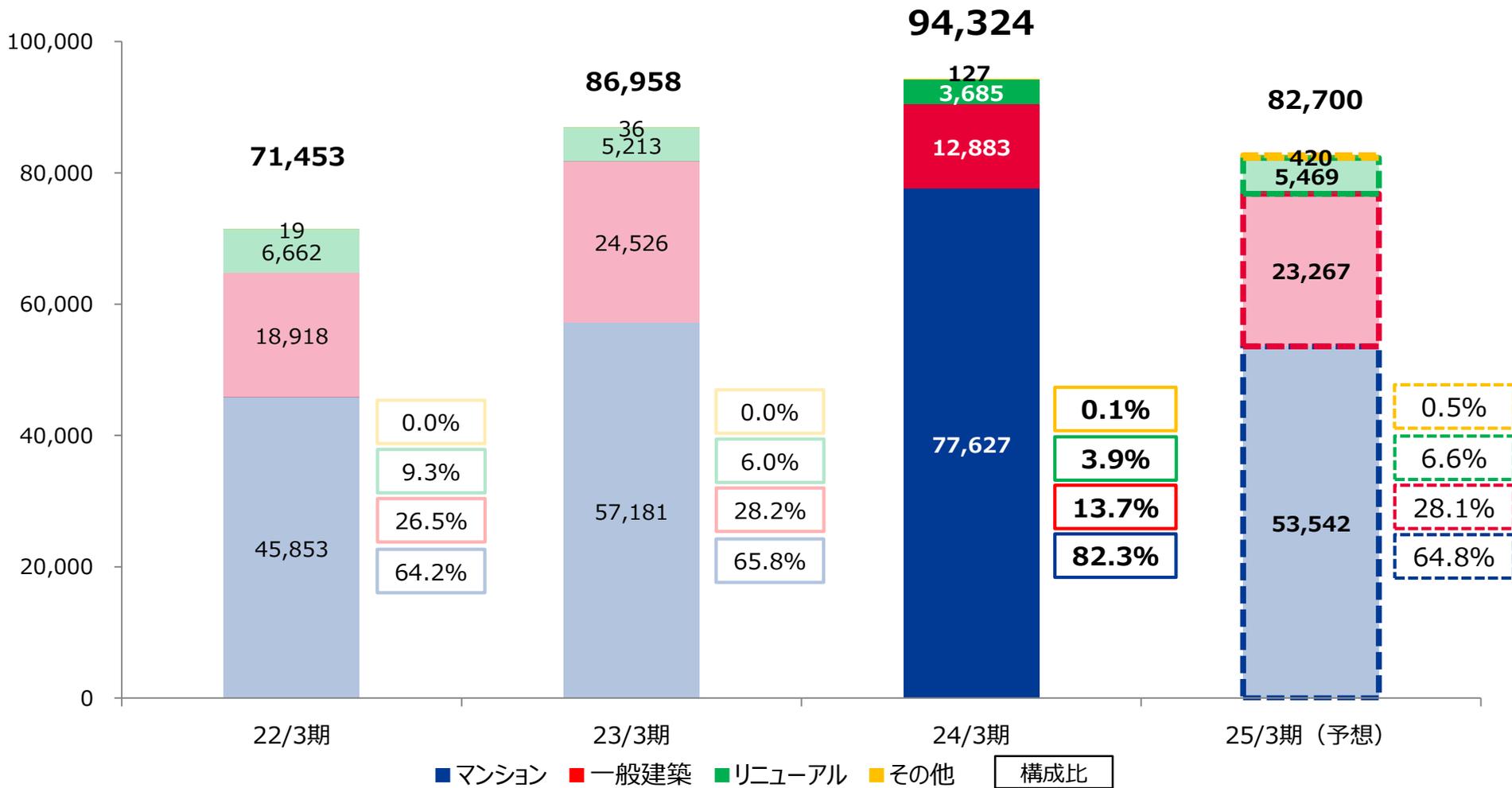
営業利益増減



4-1. 連結受注高推移

複数の大型マンションの受注が寄与し、前年同期比8.5%増加の94,324百万円

(百万円)



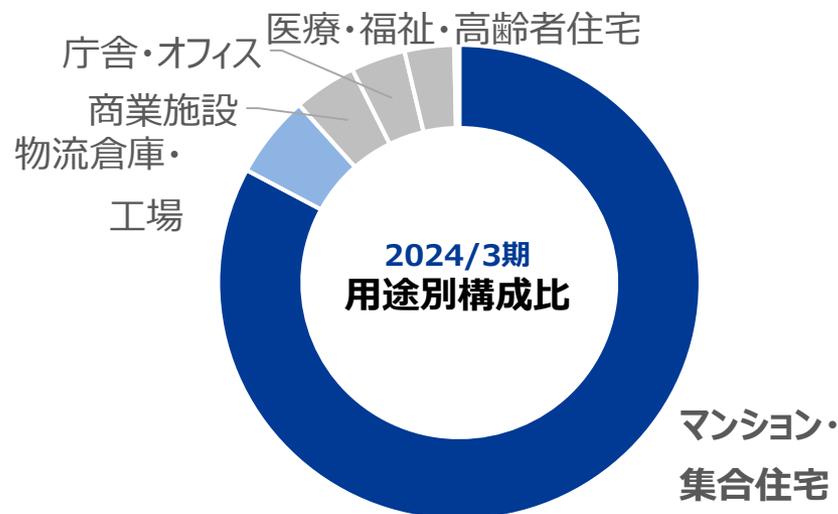
4-2. 連結受注高内訳

用途別 主力分野のマンション・集合住宅が堅調

(百万円)

	2022/3		2023/3		2024/3	
		構成比		構成比		構成比
マンション・集合住宅	46,775	65.5%	58,337	66.9%	78,137	82.8%
物流倉庫・工場	13,947	19.5%	16,919	19.5%	5,281	5.6%
商業施設	2,634	3.7%	5,979	6.9%	4,015	4.3%
庁舎・オフィス	3,241	4.5%	2,415	2.8%	3,443	3.7%
医療・福祉・高齢者住宅	1,055	1.5%	1,956	2.3%	3,130	3.3%
教育・文化・スポーツ	2,657	3.7%	675	0.8%	96	0.1%
イベントホール	1,122	1.6%	614	0.7%	78	0.1%
その他	20	0.0%	59	0.1%	141	0.1%
合計	71,453	100.0%	86,958	100.0%	94,324	100.0%

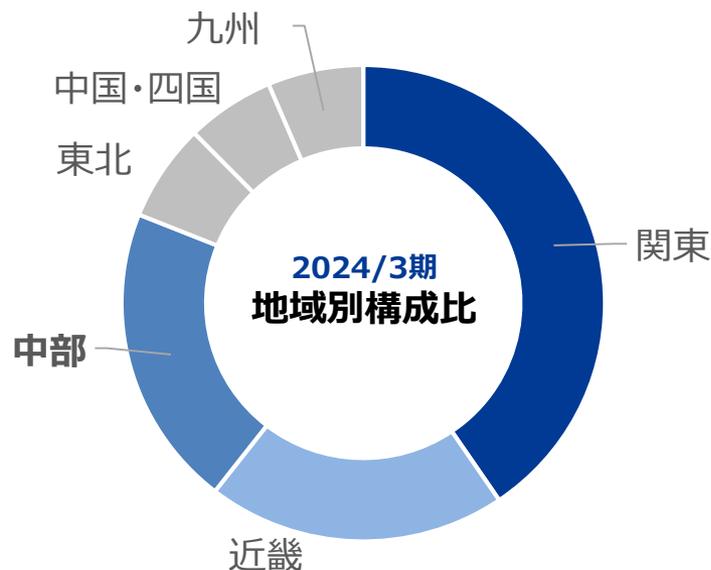
※リニューアル工事は建物用途に応じて分類



地域別 中部エリアが堅調

(百万円)

	2022/3		2023/3		2024/3	
		構成比		構成比		構成比
関東	33,069	46.2%	39,315	45.3%	38,194	40.6%
近畿	18,920	26.5%	28,085	32.3%	18,886	20.0%
中部	6,977	9.8%	8,630	9.9%	19,386	20.6%
東北	3,764	5.3%	2,906	3.3%	6,227	6.6%
中国・四国	4,739	6.6%	3,947	4.5%	5,587	5.9%
九州	3,983	5.6%	4,072	4.7%	6,042	6.4%
合計	71,453	100.0%	86,958	100.0%	94,324	100.0%



4-3. 主な受注工事

※都道府県コード順で表示しております

発注者名	物件名（工事名）	都道府県	用途
株式会社タカラレーベン	レーベン福島太田町	福島県	マンション・集合住宅
蕨駅西口地区市街地再開発組合	蕨駅西口地区第一種市街地再開発事業 ※ ¹	埼玉県	マンション・集合住宅
オーケー店舗保有株式会社	オーケー松戸大橋店	千葉県	商業施設
大和ハウス工業株式会社 東京建物株式会社 三信住建株式会社	花月園駅前プロジェクト宅盤 1	神奈川県	マンション・集合住宅
三菱地所レジデンス株式会社	愛知県岡崎市羽根町計画	愛知県	マンション・集合住宅
日本生命保険相互会社	日本生命四条ビル※ ¹	京都府	庁舎・オフィス
株式会社クボタ	クボタ堺B5・B6棟	大阪府	物流倉庫・工場【改修】
穴吹興産株式会社	アルファステイツ飯塚駅	福岡県	マンション・集合住宅

※¹共同企業体によるもの

5.25/3期計画サマリー

連結 売上高

83,900百万円 (前年同期比 +7.8%)

豊富な繰越工事高が寄与し、前年同期比7.8%増加の83,900百万円を見込む

(百万円)

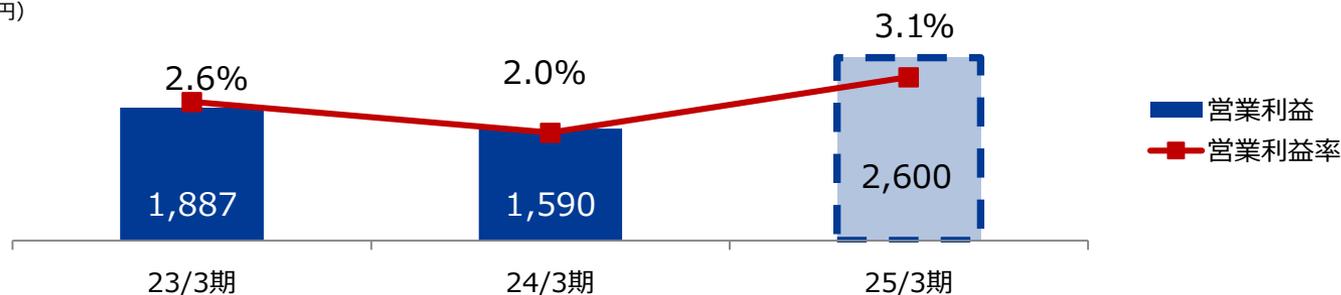


連結 営業利益額

2,600百万円 (前年同期比 +63.5%)

資材価格高騰時に受注した不採算案件が概ね完成を迎えたことなどにより、前年同期比1,009百万円増加の2,600百万円の見込み

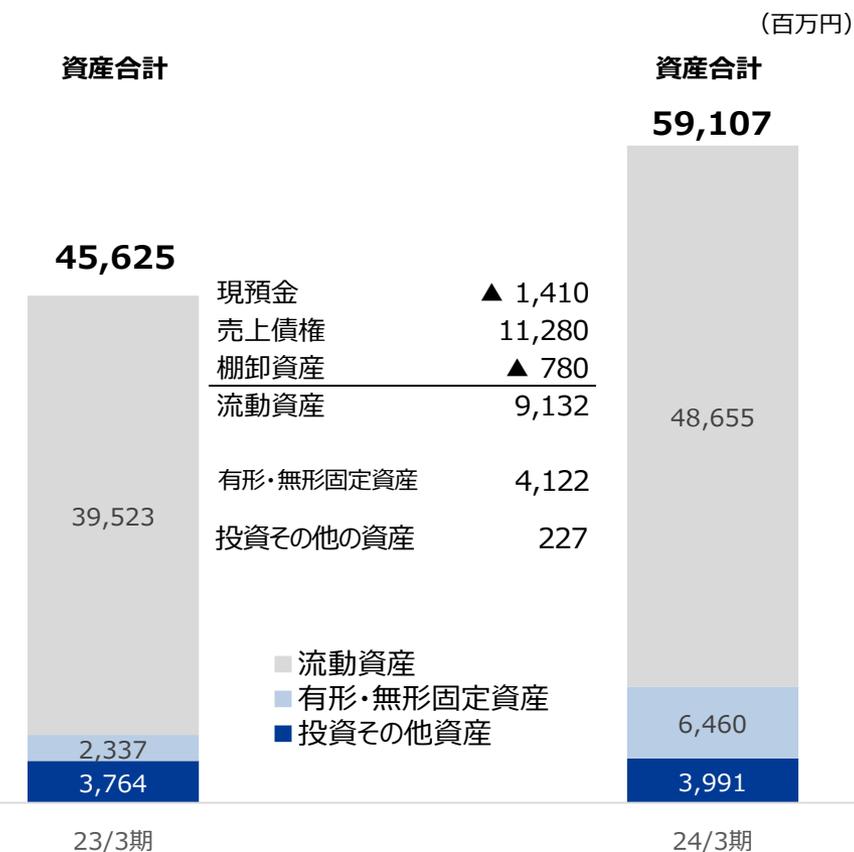
(百万円)



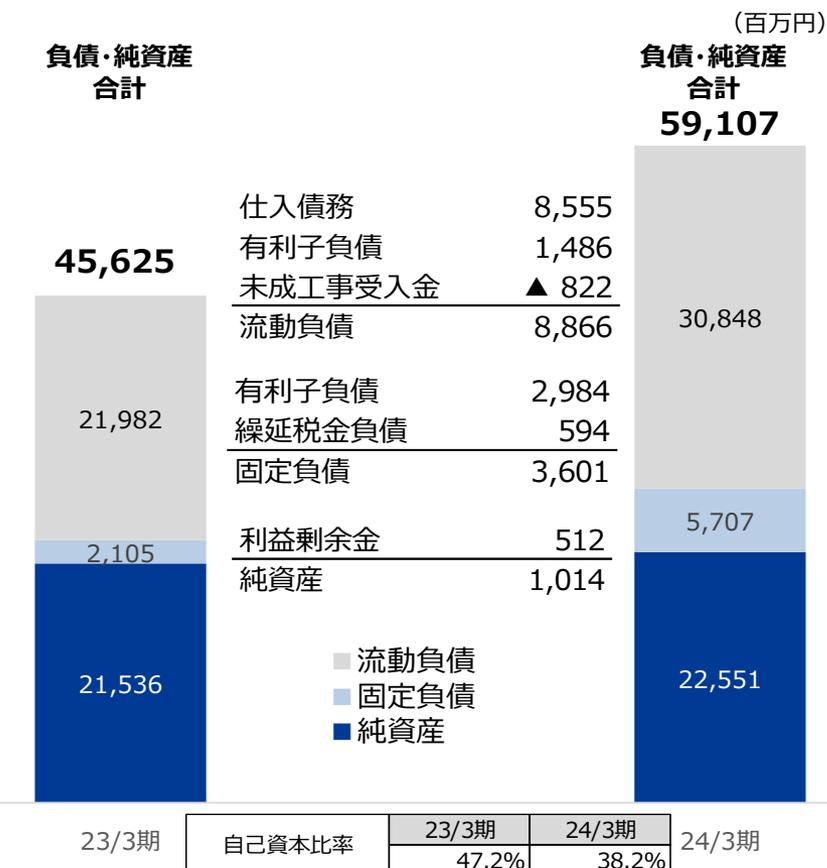
6.連結貸借対照表

資産の部では、主に流動資産のうち売上債権（受取手形、完成工事未収入金及び契約資産、電子記録債権）が前期比増加。負債・純資産の部では流動負債のうち仕入債務（工事未払金、電子記録債務）などが増加

■資産の部 +13,482



■負債・純資産の部 +13,482

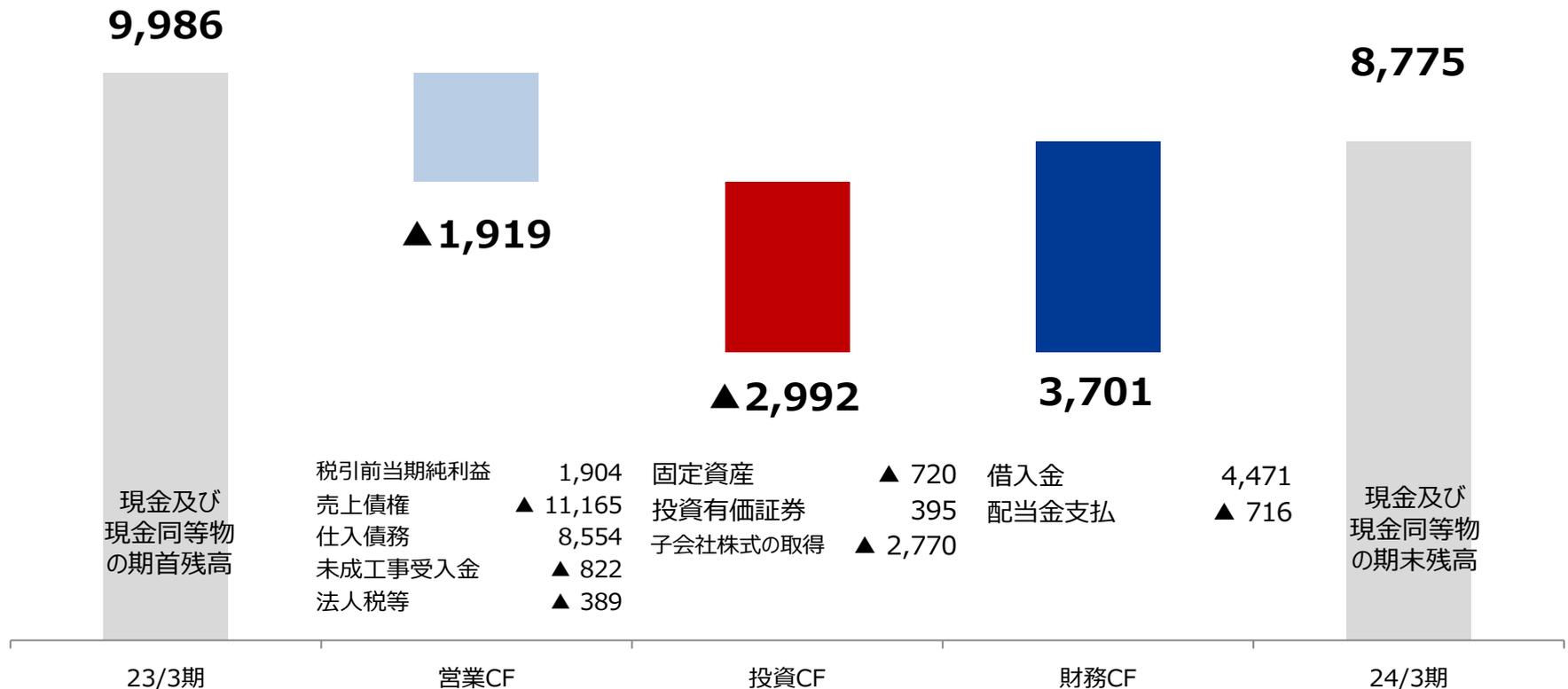


自己資本比率	23/3期	24/3期
	47.2%	38.2%

7. 連結キャッシュ・フロー

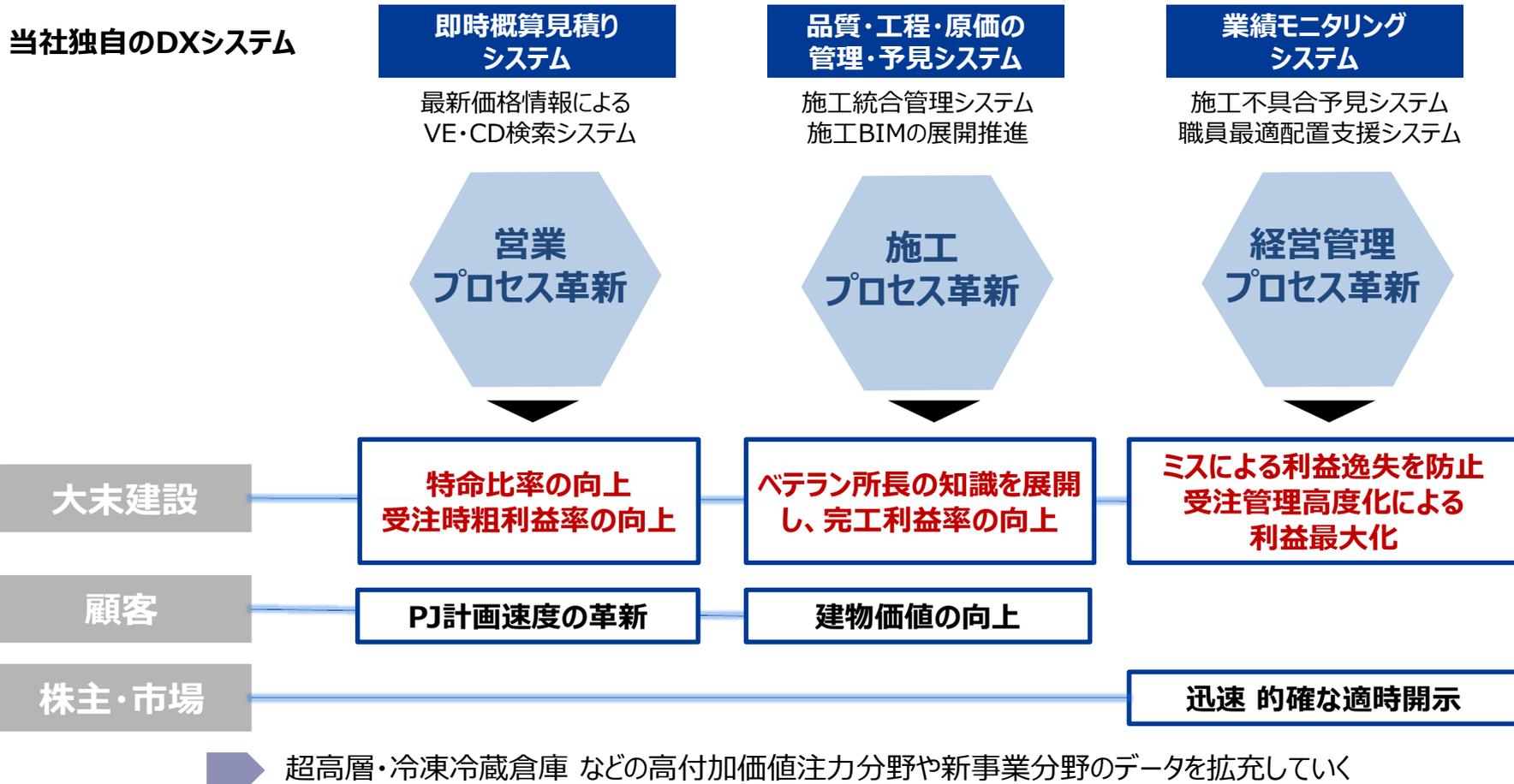
売上債権（受取手形、完成工事未収入金及び契約資産、電子記録債権）の増加や子会社株式の取得により、現金及び現金同等物の期末残高は1,210百万円減少し8,775百万円となる

(百万円)



8-1.DXシステムの運用開始

当社は、自社独自のシステムである『DXS』（大末DXシステム）を開発し、2024年4月1日に運用を開始しました。DXSにより蓄積されたデータやDXSそのものを業務に利活用することで、自社のDXをさらに加速させ、業務変革を進めてまいります



8-2.DXシステムの運用開始

FPTソフトウェアジャパンとパートナーシップ契約を締結



2024年4月22日、弊社のDXシステムを共同開発したFPTソフトウェアジャパンと、建設業のDX化推進に向けたグローバルパートナーシップ契約を締結しました。DXシステムの継続的な改善・価値向上を図り、これまでの協業関係をさらに発展させ、双方が協力して建設業界の変革を加速させてまいります。

9.大阪・関西万博の取組み

2025年大阪・関西万博において、**チェコ・ナショナルパビリオン**の建設業者となりました
モダンな木造建築に伝統的なアートガラスを使用し、美しい回廊状のパビリオンをつくりあげます



2024年4月17日調印式



チェコパビリオンイメージパース

10.SDGsの取組み

TCFD提言に基づく気候変動の情報開示

気候変動を重要な課題と捉え、**2023年11月にTCFD提言に賛同**し、TCFD提言に基づく分析を実施。分析を踏まえた対応策を推進し、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に取り組んでいきます

■ 指標と目標

当社では温室効果ガス(GHG)の排出量を指標とし、Scope1・2について、2021年を基準に2030年度までに31.0%削減することを目標としています。2021年度のCO₂排出量は、Scope1（事業による直接排出）が4,221.9t-CO₂、Scope2（電力消費による間接排出）が884.2t-CO₂の合計5,106.1t-CO₂でした。目標達成に向け、省エネルギー化を中心として取り組みを促進しています。また、サプライチェーン全体でのCO₂排出も重要視しており算定を進めています。2021年度のScope3は718,705.2t-CO₂であり、サプライチェーン全体でのCO₂削減に向け、低炭素型コンクリートなどの低炭素技術・製品の開発を検討など今後さらに取り組みを強化してまいります。

項目	対象	2021年度実績	目標
GHG排出量	Scope 1・2	5,106.1t-CO ₂	2030年度までに2021年度比で31.0%削減
	Scope 3	718,705.2t-CO ₂	-

取り組むべきマテリアリティ（重要課題）

マテリアリティへの取組を推進し、その結果を開示していくことで、事業活動を通じた着実な解決を目指します

マテリアリティ	主な取組	関連するSDGs
環境 気候変動に対する取組 環境に配慮した事業活動	<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラルに向けた取組の推進 ZEB/ZEH/木造建築の推進 建築副産物の削減 建設リサイクルの推進 	  
社会 ワークライフバランス推進 人材育成の強化 労働安全衛生の確保 ダイバーシティの推進	<ul style="list-style-type: none"> 時間外労働時間の削減 作業所閉所の推進 男性育休推進 従業員満足度の向上 有資格者数の増加 労働災害の抑制 女性管理職の増加 女性従業員の増加 経験者（中途採用者）の増加 	  
ガバナンス パートナーシップの推進 ガバナンスの強化 コンプライアンス徹底	<ul style="list-style-type: none"> 建設キャリアアップシステムの導入推進 資本コストを意識した経営の実現 サステナビリティ関連開示の充実 コンプライアンス意識の向上 	  

安心と喜びあふれる空間を創造する会社



大末建設